

## きっと未来は変えられる！！

ギタンジャリ・ラオさんという2005年アメリカ生まれの若き科学者をご存じでしょうか。ラオさんは、11歳の時、水道の鉛汚染に苦しむ人々を助けようと、鉛汚染探知装置を発明し、「アメリカで最も優れた若き科学者」に選ばれました。さらに、15歳の時、AI(人工知能)技術を使って、新たな問題となっている「ネットいじめ」を予防するアプリ「カインドリー」を開発し、2020年にアメリカの『TIME(タイム)』誌で、初の「キッズ・オブ・ザ・イヤー(その年最も影響力のあった子ども)」にも選ばれました。

「カインドリー」というのは、いじめに使われる可能性のある単語をネット上で送ろうとしていると、AIがその言葉を見つけて別の言葉に直すように提案するアプリなのです。このアプリについて、ラオさんは若者に次のように語りかけます。

「私たちって、つい人の悪口を言ってしまう傾向がある。だからこそ(このアプリは)あなたたちに、『今、言葉にしようとする内容』を考えさせるチャンスを再び与えてくれるの。そうすればあなたが、次に何をしたらいいか考えられるでしょう。」

また、ラオさんは、「誰かを幸せにするのが、私の毎日の目標」と熱く語り、「社会問題を解決するには、STEM(科学・技術・工学・数学の英語の頭文字をとった学問領域)を利用したイノベーション(改革)が重要」として、自らの著書でその方法等を紹介しています。そして、「まわりの大人は、子どもの好奇心と一歩踏み出した子どもたちをサポートしてください」と呼びかけています。

みなさんは、ラオさんの考え方や取組をどのように感じられるでしょうか。ラオさんのように、高度な知識や技能を要することは誰にでもできることではありません。しかし、私たちの未来をよりよいものに変えていこうと、自分にできることを探し、得意なことを生かして果敢に挑戦する姿に心動かされます。



「STEMで未来は変えられる」  
ギタンジャリ・ラオ著(くもん出版)

みんなで声をかけあい、勇気を出していじめをなくしていきましょう。



三木市子どもいじめ防止センター

電話

0794-82-8110

相談日 月曜日～金曜日

ijime\_boshicenter@city.miki.lg.jp

